

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい
かがやく山内西の子

山内西小 HP: <https://www.education.saga.jp/hp/yamauchinishi-e/>



武雄市立山内西小学校
学校だよ 11号
令和7年9月8日発行
文責：校長 松尾 寛

ふれあい道德の参観、ありがとうございました！

1学期後半が始まり、数日が経った朝、子ども達の元気なあいさつが聞こえていました。正門に立っている私の前を、1年生が3人ほど、自分からあいさつをして通りました。その3人は、途中で摘んできたであろう、野草の花を持っていました。私が、「きれいな花だね。」と声をかけると、嬉しそうなえがおでした。私は、教室に飾るのだろうと思っていました。3人が通り過ぎた後、そのうちの一人の男の子が戻ってきました。男の子は、私の前になると、「こうちょうせんせいに、このはな、あげる！」と言って、えがおで手渡してくれました。私が「ありがとう」と言うと、男の子は、嬉しそうに跳ねるように走り去りました。8月終わりの朝の輝く陽ざしの中、私は男の子のえがおと、きれいな花にとっても嬉しくなりました。

山内西小学校の子ども達は、夏休みを終え、元気なあいさつを自分からできるようになっています。これもご家庭や地域での子育てのおかげだと思います。あいさつとともに、「元気な返事」「わかった！できた！」「友だちとの遊びやお手伝い」等の3つのえがおが多くみられるようになっています。その一端を今回のふれあい道德の中で子ども達はみせていました。

【1・2年生では、だれかにありがとうの気持ちを伝えたり、自分の命の大切さを感じたすることができました。】



【3・4年生では、きまりや決めつけ、自分のよさについて、どのように考えるか、話し合うことができました。】



【5・6年生では、真の支え合いや親切、自分と友だちのよさや今できることについて考えることができました。】



参観を頂いた皆さんに、子ども達の学びで「わかった！できた！」のえがおコイン(64枚)を書いて頂き、ありがとうございました。全て読ませて頂きました。我が子へのほめことばが、お子さんの喜びとともに、新たな学びへの原動力になります。皆さんの励ましが、子ども達のこれからにつながるよう、いかしていきます。これからも宜しくお願いします。

【保護者の皆さんは、子ども達が一生懸命に学ぶ姿を見たり聞いたり話したりされたことを書いて下さいました。】



防災の日を通して、命を守る行動や準備、日々の生活のありがたさを感じました！

9月1日は、防災の日でした。それに先駆け、武雄市では今年度、山内町内での総合防災訓練が実施されました。8月31日(日)朝、地震が発生したという設定で行われました。その一環で、山内中央公園一帯では、保存食を活用した炊き出し訓練、段ボールベット、エアーマット、プライベートテントの作成体験、AED体験等々、様々な取組が行われました。私も初めて参加してみて、日頃の備えの大切さと、いざという時には地域住民の支え合いの大切さを感じました。



プライベートテント内の段ボールベット、エアーマット、防災グッズ、高圧発電車両等が展示されました。

また、山内西小学校では、9月1日の給食に、セルフおにぎりづくり、非常食のコーンポタージュが出ました。子ども達は、ビニール袋でおにぎりをつくりことに四苦八苦したり、温かい食事のありがたさを感じたりしていました。学校教育でも、地震を想定した避難訓練等を行い、子ども達の防災に対する意識と知識を高めていきます。



防災の日給食で、各担任からビニールを使ってのおにぎりの作り方を習い、実際に作って食べる子ども達。